



人権行政の悪事 鳥取地方法務局・鳥取県人権擁護委員連合会の
由々しき職務違反を事実確認し、けじめを
こんな FAX を狭い世間の鳥取市に数万枚したから、ついで鳥取市
民とコンタクトを取れば概要はわかります

守秘不要

鳥取市職安の口封じ・法務局のもみ消し工作 問題の核は、会社の人権侵犯でなく行政の悪事

鳥取市のAは、リコー工場にバイトで行き、第43回富士登山競走出場のため辞めた。その後“鳥取市企業城下町の城主”と称される大企業鳥取三洋電機(パナソニックに吸収)で、面接者全員採用の超ブラック会社テスコに所属し、海外放浪資金稼ぎをしていた。リビング事業部での作業。1年半経ち、大きな部屋で一人だけの作業を命じられた。そして責任者の「一人ぼっちが寂しいだろ」のパワハラ <http://greenvxv.jp/pawa.pdf> に怒って辞めた。世間的表現では「クビ」。退職後の責任者の話では「リコー工場社員がAの真面目な勤務態度を問題にしていた」そうだ。なんか知らないがリコーの痴話が原因のようだ。そんな事より、海外に心がおどりと、旅の準備・情報収集活動に専念。親は「大学まで行かせたのに…海外で遊んでたらダメ」と大卒待遇の就職先を紹介し、バイト作業員不当解雇もなにもあったもんじゃない。

リビング事業部の人権侵犯が、首脳部にバレたようで、あわててもみ消し。

普通、面接者全員採用の底辺職で不当な目に遭っても役所に訴えない。 この件では雇用保険受給資格があり、すぐカネが貰えるよう、職安で手続きの際に「嫌がらせされ不当解雇！会社都合の退職！」と言い張るところだが… Aは3ヵ月間のアフリカ旅行の予定で、すぐ給付だと1か月以上海外に出られない。帰国後3ヵ月以上先にカネを貰おうと職員に「自分で辞めた。自主退職」と言い張っているのに「自己都合ではすぐに給付が受けられませんよ」とくどくど退職理由を聞かれ、クビ同然を知っているようでおかしい。次に職安に行った時、職員の猿芝居を「(芝居って)わかりますよ。わかるって」と追及したら、動揺し奥村次長を紹介。奥村次長はAに「職安が情報を漏らしている」と言っているそうだがとAが言いもしないことを言い、さらに「自分で辞めたんだろ？」とおかしい。クビになった事を知っている。Aは次長の本心を吐露させようと「リコーに謝ってもらえませんか？」と数度懇願しさぐりを入れた。

奥村次長「リコー内部で解決すべき問題であって君には関係ないじゃないか」

A 「笑い話としてしゃべってもいいですか？」

奥村次長「笑い話だと？聞きたくない！そんな話は誰も聞きたくない！」と怒りだした。

A 「高校の時の先生に相談しましょうか？」

奥村次長「いけない！ 両親に相談しなさい」

A 「両親は事情を知らないから相談しても意味がない」

奥村次長「事情は私が話してあげるから」

片山県政時代には日本初の人権救済条例を可決し、人権先進県を内外に誇示。

西尾元知事がテレビ出演時には「日本一小さな県は、日本一の人権先進県」が口癖。

奥村次長の口封じは“人権先進県に、人権侵害はあってはならぬ”の人権行政そのもの。

別れ際、奥村次長は「しゃべるって誰にしゃべるんだ。こうなったのも種をまいたのは、君なんだからな」と Aを睨みつけた。

奥村次長は、Aの父親に電話で「病気による被害妄想と処理する」と連絡したそうで、父親は悩んでいた。“城主”と称される鳥取三洋電機と職安は「Aをクビにした」という認識があり、クビになった経緯を、底辺労働者Aの精神疾患による被害妄想ともみ消し・隠蔽を図る不法行為(民法709条)を犯した。その後「もみ消し！」の噂が、就職面接の担当者や転職先に伝わり、風評被害・トラブル発生。鳥取三洋電機での人権侵犯は終わった事だが、バレてる事のもみ消しで、狭い地元の平穏生活権が侵害。2年後に会社に「バレてる事のもみ消しは止める」と抗議。人権機関にも相談。鳥取地方法務局人権擁護課に行き、何十人もの人権擁護委員と面談で話した。最初に相談した村田(?)先生は、事情は知らないようだった。しかしAが、ネットの鳥取市関連の掲示板に“職安の口止め”などを書き込んだりしたことあり、法務局、鳥取県人権擁護連合会は、大企業の人権侵犯事件の情報を次第に把握していき、「大企業様の人権侵犯事件 もみ消し！隠蔽！」の悪事に加担。法務大臣委嘱のボランティア人権擁護委員は、法務省の指揮監督下にあり、もみ消し・隠蔽加担の非行は、例えプライベートであっても公務として共同不法行為(民法719条)が成立。

鳥取地方法務局の職務違反の調査は、法務省人権擁護局、もしくは管轄の広島法務局人権擁護部。

霞が関の法務省に、何度も不正の告発資料を送り電話しても「調査はしても回答しないことがある」と、いくら頼んでも回答しようとしな。広島法務局にも資料を何度も FAX 送信。電話すると「人権擁護部 かしかわです」。担当者に替わってもらい質問すると「回答はできません」。名前を聞いても「申し上げられません」。名乗ろうしない男性は、初めて電話した時「やまだ」と名乗った担当者の、やまだ係長では…

北海道などの法務局によると、「鳥取地方法務局の不正は、管轄の広島法務局がきちんと調査して回答する」そうだ。しかし「回答はできません」。

管轄の広島法務局人権擁護部 2020年9月10日電話録音 <http://greenvxv.jp/hirojin2.mp3>

人権擁護委員は悪人でないが、心の弱さが非行を犯している (▼▼×) カネと名誉のある先生の弱みを握っとるがな